

人類学者の心地よい ライフ・ワーク・バランスを考える :日本文化人類学会の現状を知ることから

共催: GEAHSS, NPO法人 FENICS

★日時: 2021年5月29日(土) 13:00~14:30

★場所: ZOOM (研究大会への参加登録者は、あらためて参加申し込みをする必要はありません。開催日前にメールでZoomのURLとパスワードを送付します。)



<<プログラム>>

趣旨説明: 中谷文美(岡山大学)

会長挨拶: 窪田幸子(芦屋大学)

「男女共同参画・ダイバーシティ推進委員会」立ち上げの経緯

文化人類学会第55回研究大会参加者以外の申し込みはこちら

5/27 17:00 (JST) まで!

Part I 日本文化人類学会の現状

椎野若菜(東京外国語大学)

:「日本文化人類学会の男女共同参画の歴史・現状—ジェンダー比をみることから」

椎野若菜:「子育てとフィールドワークの両立という観点から、子育てフィールドワーカーが直面する困難」

嶺崎寛子(成蹊大学):「女性研究者が生き残るために必要な資源とは」

岩佐光広(高知大学):「地方国立大で育休を取る—高知大学人文社会科学部の事例」

Part II 人文系学会における日本文化人類学会の位置

ギースの紹介と他学会のとりくみ

井野瀬久美恵(甲南大学)

「歴史学の場合」

参加者で意見交換

学会としてサポートできるポイントは何か

お問い合わせ

wakanatokyo@gmail.com

